週報

Rotary

No.01461　2025.4.28　第35例会

◆本日のプログラム

4月28日(月)
内部卓話
「イニシエーションスピーチ」
石岡大輔　会員
「ローターアクトについて」
ローターアクト委員長
日笠常信　会員

◆次回のプログラム

5月12日(月)
ローターアクト認証式

THE MAGIC OF ROTARY

2024～2025年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

◆理事・役員（2024.7～2025.6）

会長	山田喜広	会計	森本剛仁	理事・プログラム	井川浩典
副会長	樋口芳紀	理事・職業奉仕	岡村秀男	理事・親睦活動	高橋峯男
幹事	槌田道弘	理事・社会奉仕	藤岡温	理事・ロータリー財団	堀川辰也
副幹事	藤島和美	理事・国際奉仕	川西熊雄	直前会長	相原利行
理事・S.A.A.	仲田錠二	理事・青少年奉仕	岡本浩三	次期会長	笠原英司
副S.A.A.	波多万行	理事・会員増強	岩本一壽		

地区のスローガン　「未来への架け橋をつくろう」

クラブのスローガン　「みんなで汗をかいて楽しもう!」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場　岡山市北区駅元町1-5　ホテルグランヴィア岡山　　●例会日　毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
友好クラブ　京都朱雀ロータリークラブ
事務所　〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル 6階西F号室　E-mail : jimu@kyotosuzakurc.com
TEL(086)222-9590　FAX(086)224-4288
E-mail : hokusei@ok6rc.jp　http://okayama-hokusei-rc.jp

例会プログラム

地区協議会報告

地区研修・協議会

次期幹事　与　田　卓　士　会員

こんにちは、それでは先々週になりますが4月13日、米子で行われました地区研修・協議会の報告をさせてもらいます。

参加メンバーはこの7人でございます。特に今年は行動計画推進部門という新しい部門が設けられ相原会員にお願いし参加していただきました。次年度の国際ロータリー会長メッセージは「UNAITE FOR GOOD（良いことのために手を取りあおう）」です。

こちらの方が地区ガバナーエレクトの坂口元昭（もとあき）さんです。米子南ロータリー所属、職業分類は石油販売業です。坂口ガバナーエレクトからのメッセージとして会員増強と活性化に向けたロードマップとして　1、革新　2、継続性　3、パートナーシップ　を上げられました。

こちらが次年度の重点地区目標になります。この中で、特に各クラブ純増1名、ロータリーカードの加入促進を言われておりました。また次年度より「ガバナー月信」はデーターでの配信になるようです。マイロータリーの方から見てください。

午後からは会長、幹事含め7部門に分かれ協議会が行われました。それでは各部門の報告をお願いします。

青少年奉仕委員会

次期青少年奉仕委員長　波　多　万　行　会員

先日の地区・研修協議会おきまして、青少年奉仕部門の部門別協議会に参加させていただいたので、以下報告させていただきます。

米子東RC、境港RC、鳥取西RC、倉吉RCからそれぞれ実施されている事業の発表がありました。地域の小学生、中学生を対象に作文コンテストであったり、ナイター野球大会であったり、弁論大会といった催しを企画、実施されており、いずれの事業も大変好評を得ているということでした。また3ヶ年計画で地区補助金事業を利用されているものもありました。カウンセラーからは、ロータリー財団の補助金制度をもっと利用して欲しいという話もありました。まだ半分も利用されていないクラブがあるそうです。

今年の地区目標として「インパクトのある青少年奉仕活動の実践」が挙げられています。地域、子供たちに大きなインパクトをもたらす事業を展開して欲しいというお題をいただいていますので、岡山北西RCでも、今後の事業をより洗練された内容の濃いものへブラッシュアップする必要があると思いました。

社会奉仕委員会

次期社会奉仕委員長　井　川　浩　典　会員

「地域、家族が良くなる社会奉仕を目指し、そしてRCのイメージアップを図る」をテーマに社会奉仕活動が行われています。

RCの奉仕活動は単年度事業だと聞いていましたが、継続事業への取り組みを非常に高く評価されていたのが印象的な地区協議会でした。そして、「なにをやっているか、委員長、副委員長しか知らない。」ということが無いよう、全員で取り組むことが重要ということでした。

社会奉仕活動の例を挙げますと、子どもたちに向けたザリガニ駆除を目的にしたザリガニ釣り。子どもに古代の測量方法を学んでもらう。お年寄りが子どもに伝えたいことを伝えることができる機会を作る。吉備津神社の大屋根の吹き替えのヒノキを植樹し、皮をはいで檜皮（ひわだ）にすることを小学生といっしょにやっている。など、子どもを対象にした奉仕活動が多かったです。

お子さんを対象に奉仕活動しながら、親御さんにRCの奉仕活動の意義をご理解いただくことが、公的なイメージアップにつながっていくということを改めて認識いたしました。高校生の歴史文化研究フォーラムも高校生の親御さんに伝わる方法はないものかと検討してみるのもよいのではないかと思いました。

岡山北西RCでは、子どもシェルターモモ、あした彩、王子が岳の清掃と、継続的に行っている活動も多く、ますます充実させ、更なるイメージアップを図り、ひいては会員増強につながるよう、来年度の社会奉仕活動を行っていきたいと思っておりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

ロータリー財団委員会　　次期ロータリー財団委員長　堀　川　辰　也　会員

・事前アンケートに対する回答
① あなたのクラブは、寄付金のお願いについてどのように工夫されていますか。
（回答）会員全員に一定額（年間1万5千円）を会費と一緒に収受している。
② あなたのクラブは、地区補助金を利用した事業を実施する際に、寄贈先や受益者をどのように選定されていますか。
（回答）県下の高校に対し参加募集を行っている。
・部門別協議会では、上記のアンケートの回答に関し、数クラブが発表。
“②”の質問に関しては、継続事業を補助金事業として申請しているクラブ発表したが、鳥取のクラブでは、植林事業を小学生と一緒に行う継続事業を、植林場所と小学校を毎年変えて実施している。
当クラブも発表することになり、高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラムについて、受益者は毎年発表する生徒が変わっている旨説明した。
・ロータリーカード加入促進について説明
・地区世界社会奉仕プロジェクト（上限100万円の補助）について説明。

公共イメージ（広報）委員会　　次期公共イメージ委員長　菅　　雅　俊　会員

先日、米子で開催された会合に、公共イメージアップの代表として参加してまいりました。
この会では、各RCの代表が集まり、それぞれのクラブで実施した最もインパクトのあった公共イベントについて発表が行われました。中でも特に印象に残ったのは、地域の方々を対象にお茶会を開催し、多世代にわたる幅広い参加者を集めていたクラブの取り組みです。また、年間の活動を6ページほどの冊子にまとめ、地域の一般家庭に年に1回配布することで、ロータリーの活動を広く認知してもらっているという事例も紹介されました。さらに、イベント実施時には、地域メディアにも情報を提供し、テレビや新聞などの記事として取り上げてもらうことで、公共イメージの向上を図っているという工夫も印象的でした。こうした発表を通じて、地域とのつながりを大切にし、継続的に情報発信していくことの重要性を改めて実感しました。信頼と共感を得るためには、活動を“見える化”し、広く届けていくことが欠かせないと感じました。私たち北西RCとしても、より多くの方に関心を持っていただけるようなインパクトのあるイベントを企画し、活動内容を地域に広く発信することで、愛される存在となり、会員増強にもつながるような取り組みを進めていきたいと思います。
まずは、チラシ作成やメディアへの情報提供などから始め、地域との接点を生み出し、公共イメージの向上と新たな会員獲得につながるよう努めてまいります。

次期行動計画推進リーダー　相　原　利　行　会員

「行動計画推進リーダー」といってもご存じない会員の方もいらっしゃると思います。本年度は、西岡会員が就任されていらっしゃいますが、私は次年度の担当ということで、4月3日にZoomにて開催された第4回行動計画推進リーダー研修から参加しております。
「行動計画推進リーダー」は、地域行動計画推進リーダーと地区内のクラブとの間の橋渡し役だそうです。具体的な責務としましては、次のとおりです。
・地域行動計画推進リーダー及び他クラブの地区行動計画推進リーダーの方々との隔月の会議に参加。
・成功事例と定性的（物事で数値化出来ないもの）な評価を含む四半期報告書を、地域行動計画推進リーダーに報告。
・行動計画の活用方法をクラブに説明。
・クラブ会員間での行動計画の4つの戦略的優先事項に関する議論を促す。
では、行動計画の4つの戦略的優先事項とは何かですが、
1.「より大きなインパクトをもたらす」
年次基金への寄付の合計額、寄付者の合計数に関することです。
2.「参加者の基盤を広げる」
会員数を増やすこと、女性会員の比率を高めることです。
3.「参加者の積極的な関わりを促す」
奉仕活動や親睦活動への参加人数を増やすこと、地区大会、地区研修・協議会への参加者を増やすことです。
4.「適応力を高める」
クラブのHPやSNSの有無や、積極的な更新、クラブ細則の検討や見直しのことです。
そこで、私がその任務として何をすべきかが理解出来ておりませんでしたが、この地区研修・協議会に参加して、自分なりに解釈した結論です。
クラブの会長・幹事は任期は1年で、クラブや地区の予算も単年度の会計であり、単年度の奉仕活動ではそのインパクトには限界があることから、複数年の継続性のある計画を立てる必要があります。
また、会長、幹事経験者の方で、やっと慣れて来た頃に任期が終わり、もう一年あればもっといい仕事が出来たのにと思われた方が多いと思いますが、そのような経験を、これから会長や幹事を経験される方に引き継いでいくということです。
具体的には、2025-26年度第2690地区の地区目標でもある「クラブ優秀賞（旧ロータリー賞）の達成」の援助です。
「クラブ優秀賞」（旧ロータリー賞）とは、HPの「My Rotary」の中の「ロータリークラブ・セントラル」のページにある26の目標から、少なくとも半分（13）の目標を選択し、選んだ目標を達成し、年度末の6月30日までに「ロータリークラブ・セントラル」のページにて自己報告を行うというシステムです。
私の会長年度では、そのシステムが当初良く理解出来ず、理解出来た頃には既に年度末が近づいていたこともあり、残念ながら2つの目標を達成することが出来ませんでした。笠原次期会長には、早い時期に一緒に目標設定を行い、年度の初めから目標達成に向けて活動が出来るよう助言、援助したいと考えております。

前回４月21日の例会記録

出席の状況

会 員 数　48名（内出席免除者　０名）　　出席者数　32名
欠席者数　16名　　出 席 率　66.67％
欠 席 者　相原，藤木，福元，波多，樋口，日笠（伸），日笠（常），池本，入江，木本，小林，三宅，森本，西岡，末吉，吉田

会 長 報 告

会長　山 田 喜 広

さて、先日メジャーリーガーの大谷翔平選手に、第一子が誕生したと発表がありました。これを受けて、MLBでは「父親リスト」という制度を使って、大谷選手がチームを一時離れることが報じられました。これは、出産に立ち会ったり、育児のサポートを行うために数日間チームを離れてもよいという、まさに「育休」にあたる制度です。スポーツの世界ですら、こうした家庭への配慮が自然に行われていることに、改めて感動しました。日本でもようやく、男性の育児休業取得が少しずつ増えてきましたが、まだまだ取りづらいという空気は根強くあります。私たちロータリアンは、地域や職場においてリーダーシップをとる立場にもあります。だからこそ、誰もが安心して家族の時間を大切にできる社会、育児に関わることが当たり前の文化を育てていく責任があるのではないでしょうか。皆様にとって改めて「家族」や「未来の世代」について考えるきっかけになれば嬉しく思います。

幹 事 報 告

幹事　槌 田 道 弘

① 5月の出席確認表を回覧いたしますので、よろしくお願いいたします。
② 本日例会終了後13：45より3F「トパーズの間」において「第5回被選理事役員会」が開催されますので、次年度理事役員の皆様はよろしくお願いいたします。
③ コーディネーターNEWS5月号、他クラブ週報を回覧いたします。

スマイル報告

山田会長：本日は樋口副会長、波多副S.A.A.が欠席しております。お詫びを込めてスマイルします。
藤島会員：明日22日ですが、山田会長お誕生日おめでとうございます。
仲田会員：最近ゴルフで120が切れなくなっていたのですが、昨日は久しぶりに100を切れたのでスマイルします。
笠原会員：5月11日より高松リーグが始まります。全員で勝利目指して頑張りましょう。
竹本会員：仲田さん、先日は大変お世話になりありがとうございました。明日22日、大阪関西万博楽しんで来ます。
山下会員：大谷選手に娘さんが産まれたのでスマイルします。
ファジアーノ岡山がホームで負けて残念です。

6件　18,000円（累計1,877,000円）

メニュー情報

本日のメニュー（４月28日（ヘルシーランチ））
海鮮丼
茶碗蒸し
浅利のお澄まし
コーヒー

次回のメニュー（５月12日）
初夏の野菜と魚介のマリネ
香草を纏った豚フィレ肉のグラチネ　和のテイストで
ピスタチオのムースとキウイのコンポート
パン、バター
コーヒー

前回メニュー（4月21日）
白身魚のムニエル　バルサミコソース